

2012年12月期(第34期) 第2四半期決算説明資料

2012年8月8日

① 株式会社 小田原エンジニアリング

2012年12月期第2四半期(累計)業績概要(1)

<経済の動向>

- ① 我が国の経済は緩やかに回復した。
 - ・東日本大震災の影響などから雇用情勢は依然として厳しい。
 - ・企業の生産活動や設備投資に持ち直しの動きが見られた。

- ② 世界経済は全体としては減速感が広がるなか、弱い景気回復で推移した。
 - ・中国では内需が伸び悩む中で、景気の拡大テンポは緩やかになった。
 - ・米国では一部に弱めの動きもみられたが、景気は緩やかに回復した。
 - ・欧州では景気が足踏み状態にあり、一部に弱い動きも見られた。

2012年12月期第2四半期(累計)業績概要(2)

<ODAWARAグループの活動>

- ① 国内外で積極的な営業活動を展開。
- ② 業績は概ね期初の見込み通りに推移。
- ③ 開発要素の高い大口案件等が原価率を押し上げた。

④ 連結業績の概要

・売上高	2,999百万円(前年同四半期比24.1%増)
・営業利益	375百万円(前年同四半期比13.9%減)
・経常利益	408百万円(前年同四半期比14.5%減)
・四半期純利益	235百万円(前年同四半期比 9.2%減)

経営指標等の推移(連結)

	2008年中間	2009年第2 四半期累計	2010年第2 四半期累計	2011年第2 四半期累計	2012年第2 四半期累計
売上高 (百万円)	2,253	1,804	2,143	2,417	2,999
経常利益 (百万円)	454	121	358	477	408
四半期純利益 (百万円)	146	59	182	259	235
純資産額 (百万円)	6,989	7,075	7,173	7,449	7,718
総資産額 (百万円)	8,965	8,205	9,353	9,783	9,908
1株当たり四半期純利益 (円)	24.79	10.03	31.03	44.26	40.21
売上高経常利益率 (%)	20.2	6.7	16.7	19.8	13.6

業績推移(連結)

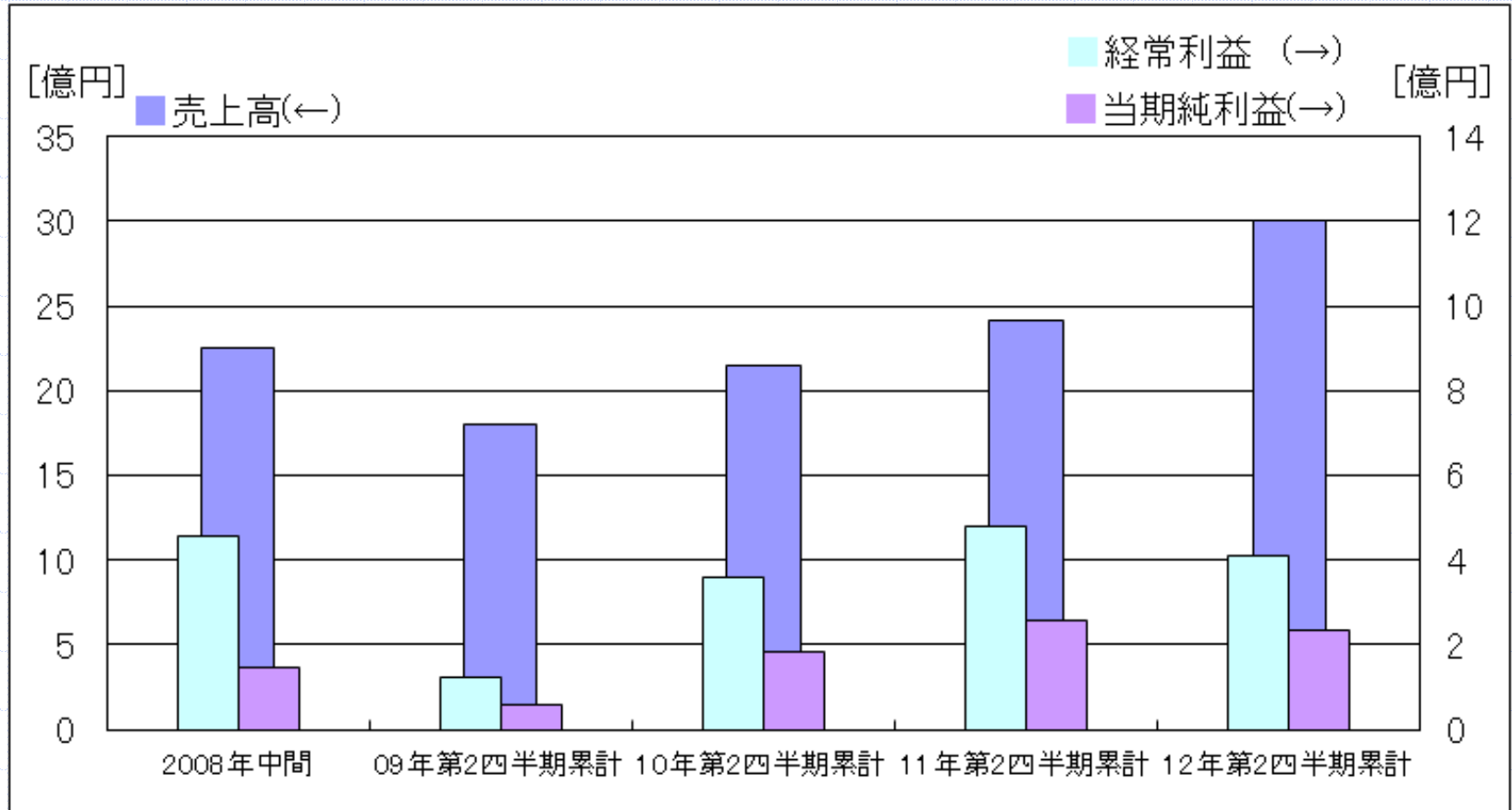
2008年：年後半までの受注獲得が順調、原価率が改善

2009年：年前半の受注低調が業績へ影響

2010年：過去最高の受注高、受注環境・生産活動とも順調

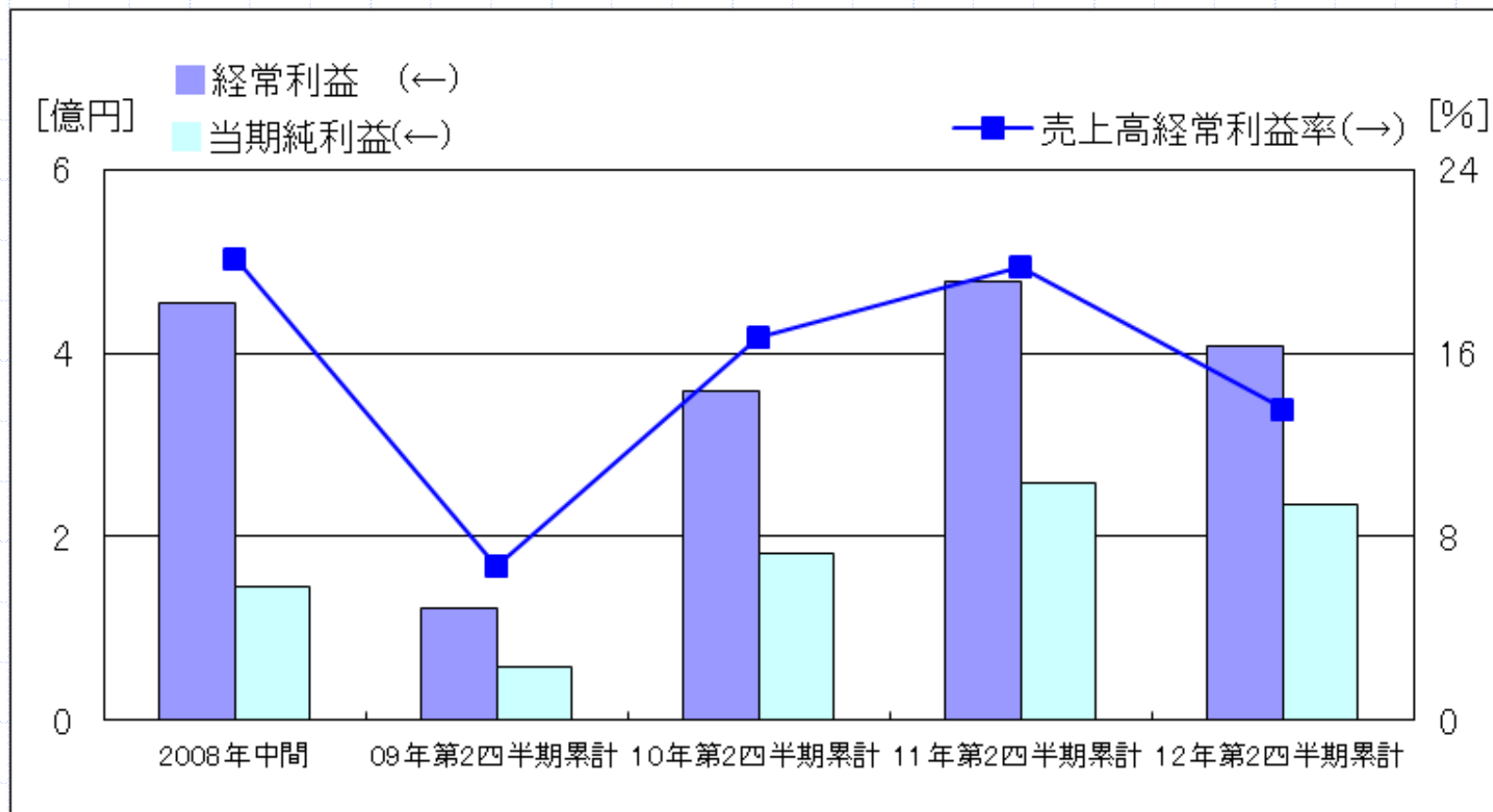
2011年：売上高は中国向け家電関連の設備や省エネ関連の自動車向け設備等を中心に好調に推移、原価低減も図れた

2012年：売上高、受注高、生産高ともに概ね計画通り

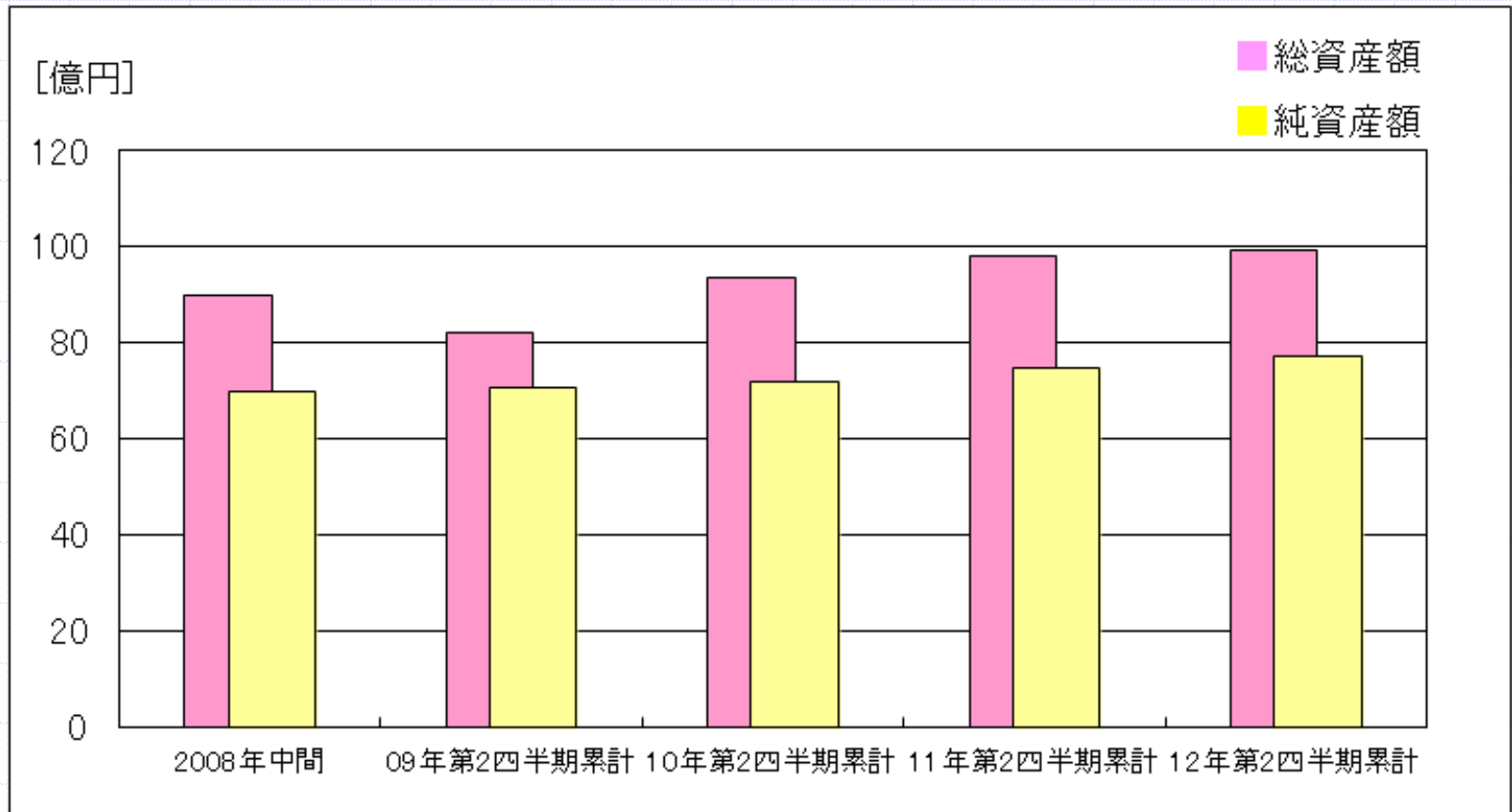


經常利益・当期純利益

・売上高經常利益率(連結)

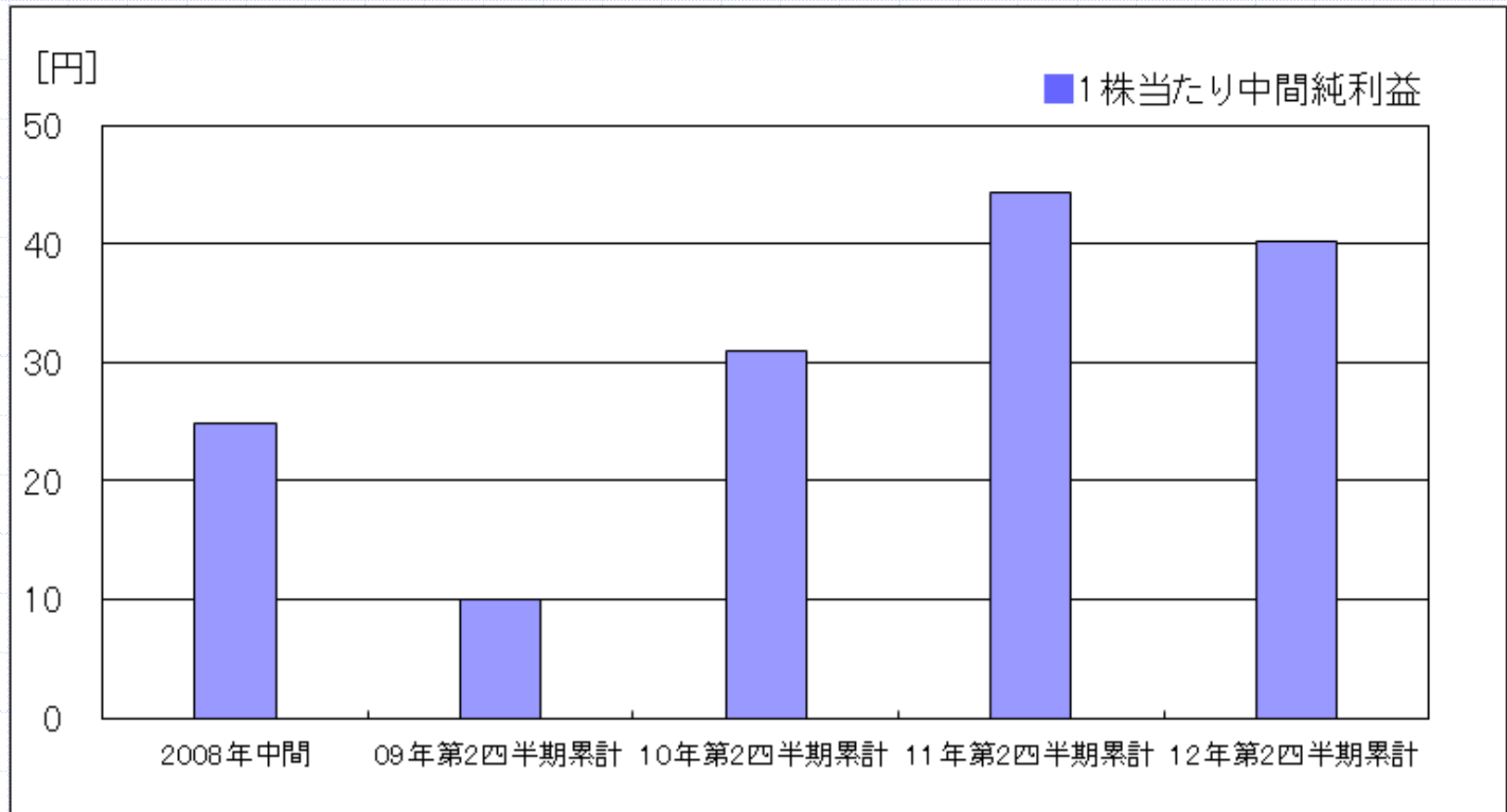


総資産額・純資産額(連結)

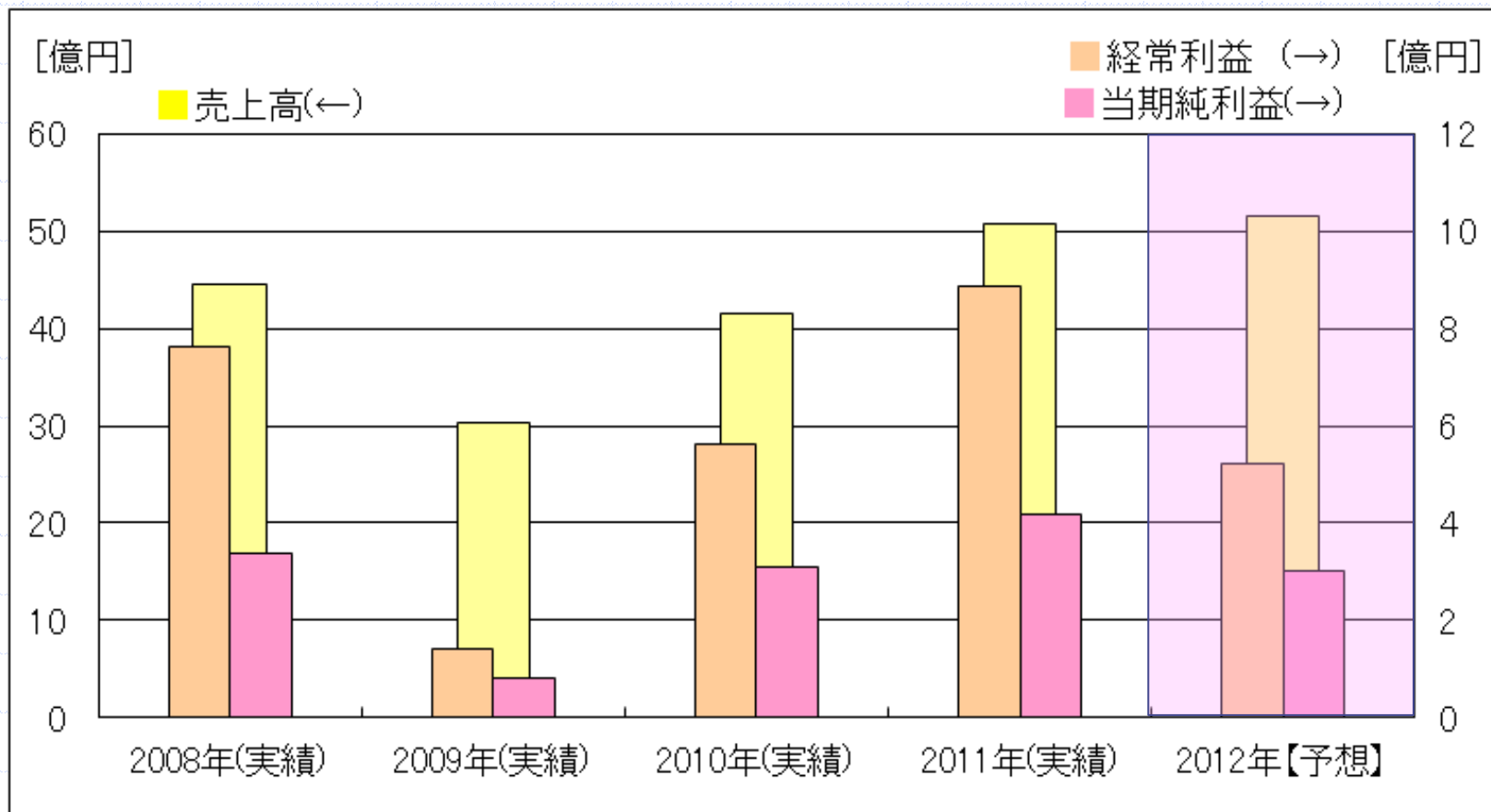


1株当たり純資産額

・1株当たり当期純利益(連結)



通期業績予想(連結)



決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものでありますが、今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

株式会社小田原エンジニアリング